

【猫町】 あらすじ

鄙びた温泉宿。そこへ湯治に来た詩人は、
たまたま立ち寄った隣町のバーで奇妙な噂を耳にした。
かつてこの温泉場付近に「憑き村」と呼ばれる集落が
あったらしい。
詩人はバーで知り合った時計屋に懐中時計を修理に出した。
そして修理の終わったそれを受け取りに時計屋に向かう途中、不思議な“猫の町”に迷い込む
…。